

Windows 11 24H2でNASにアクセスできない場合の対処方法

本手順はwindows11 24h2 で向上されたセキュリティ機能に関する一部の個所を元に戻し従来方式のままNASにアクセスできるようにする手順となります。

Windows11 Pro とWindows11 Home で手順が異なります。

デジタル署名を無効にする

1. キーボードの[Windows]キーを押しながら[R]キーを押します。
2. 名前欄に「gpedit.msc」と入力後に[OK]をクリックします。
3. 以下の順番で展開します。

[ローカル コンピューター ポリシー]

→[コンピューターの構成]

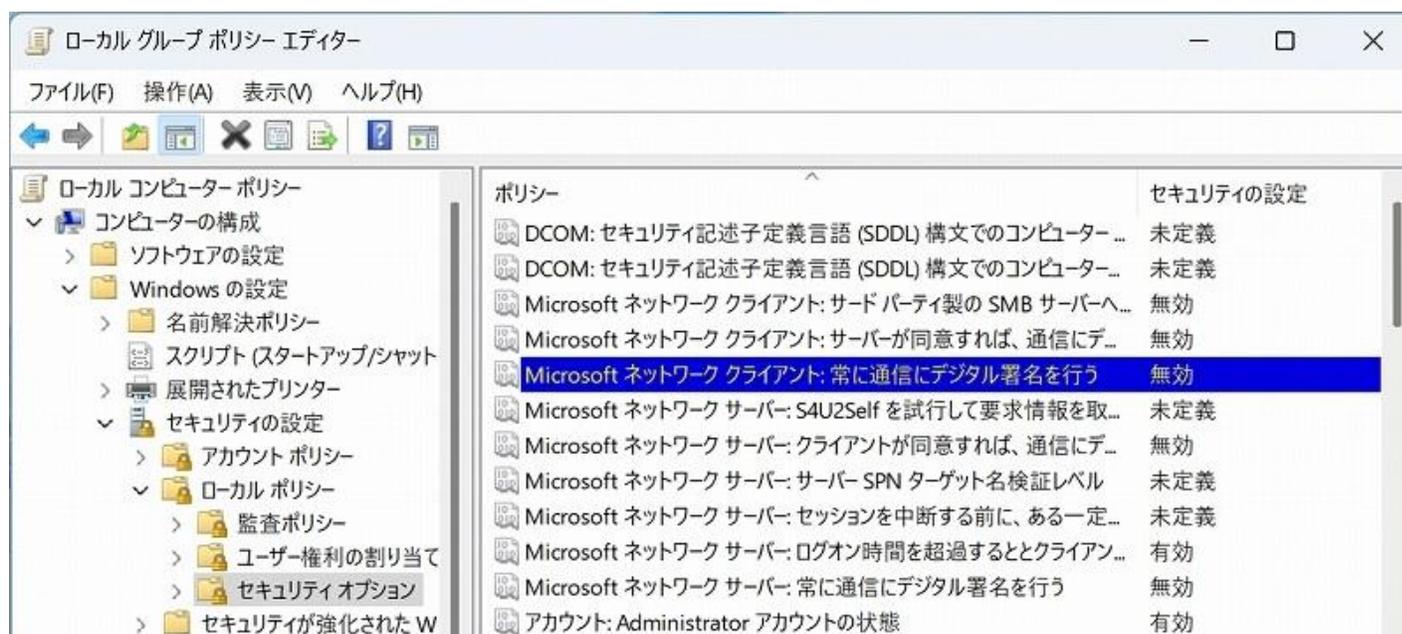
→[Windows の設定]

→[セキュリティの設定]

→[ローカル ポリシー]

→[セキュリティ オプション]

4. ウィンドウ右側の[Microsoft ネットワーク クライアント: 常に通信にデジタル署名を行う]をダブルクリックします。



5. [無効]にチェックを入れて[OK]をクリックします。

ここまでの設定が完了したらパソコンを再起動して、NASにアクセスできるようになったことを確認してください。

■Windows 11 Home の場合

ゲストログオンを有効にして、デジタル署名を無効にする

1. キーボードの[Windows]キーを押しながら[R]キーを押します。

2. 名前欄に「regedit」と入力後に[OK]をクリックします。

※ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[はい]をクリックします。

3. 以下の順番でクリックします。

[コンピューター]

→[HKEY_LOCAL_MACHINE]

→[SYSTEM]

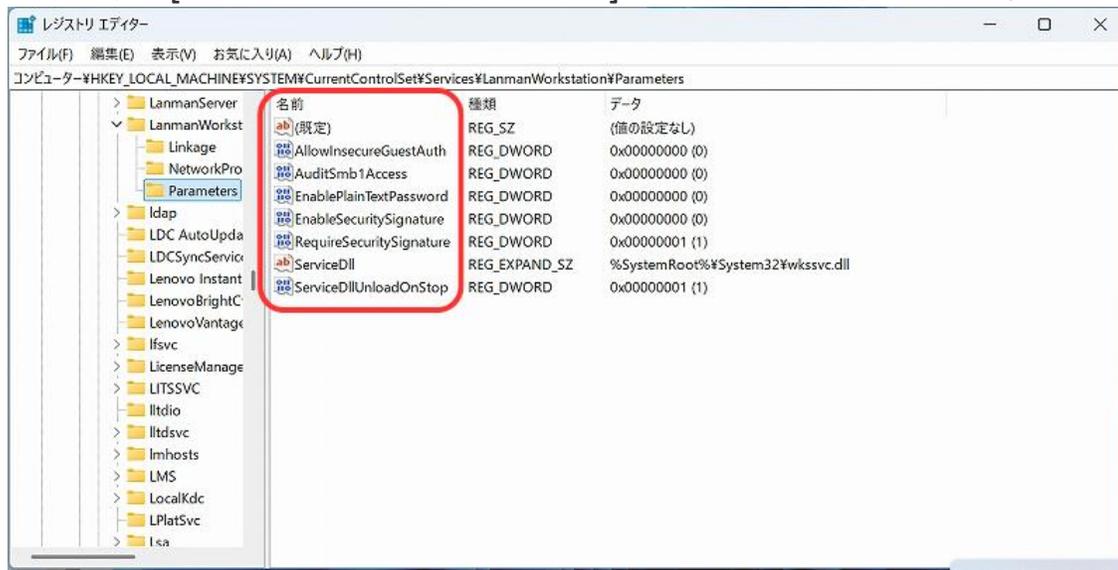
→[CurrentControlSet]

→[Services]

→[LanmanWorkstation]

→[Parameters]

4. ウィンドウの右側に[AllowInsecureGuestAuth]があるか確認します。



表示があった場合

- ①[AllowInsecureGuestAuth]をダブルクリックします。
- ②[データの値]が0なら1（半角数字）に変更して[OK]をクリックします。1の場合は変更不要です。



表示がなかった場合

- ①ウィンドウ右側の何もないところで右クリック後、[新規]→[DWORD (32 ビット) 値]の順にクリックします。
- ②[AllowInsecureGuestAuth]に名前を変更します。
- ③[AllowInsecureGuestAuth]をダブルクリック後、[データの値]を1に変更します。



5.続けてウィンドウの右側に[RequireSecuritySignature]があるか確認します。

表示があった場合

- ①[RequireSecuritySignature]をダブルクリックします。
- ②[データの値]が1なら0（半角数字）に変更して[OK]をクリックします。0の場合は変更不要です。



表示がなかった場合

- ①ウィンドウ右側の何もないところで右クリック後、[新規]→[DWORD (32 ビット) 値]の順にクリックします。
- ②[RequireSecuritySignature]に名前を変更します。

ここまでの設定が完了したらパソコンを再起動して、NASにアクセスできるようになったことを確認してください。